

洲河崎集落「集落営農ビジョン」

(人材確保型支援 ・ 規模拡大・発展型支援 ・ 地域計画実現型支援)

※該当する支援メニューに○を記入

作成日： 令和7年10月 3日

修正日： 年 月 日

市町村名	江府町	組織名	農事組合法人すがさき
1 地区の範囲 鳥取県日野郡江府町洲河崎地区			
2 地区の概要			
水田面積 11.388 ha		主な栽培作物 水稻	
農家数 33 戸	地域内の農業を担う者の経営体数 16		経営体
認定農業者数 2 経営体	農業支援サービス事業体の経営体数 0		経営体
3 組織の概要			
設立時期 (規約等の制定日) 令和2年4月18日		構成農家数 41 戸	
組織形態 (該当形態に○を記入) ・ 共同利用型 ・ <u>作業受託型</u> ・ <u>協業経営型</u>			
役員の数・年齢 7人 (平均年齢 53歳)			
オペレーターの数・年齢 7人 (平均年齢 53歳)			
その他集落営農活動に参画している人数・年齢 18 人 (平均年齢 55歳)			
4 集落営農に対する基本方針			
【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】			
(1) 担い手の明確化及び水田利用集積目標			
洲河崎集落では平成29年に担い手農家の高齢化に伴う遊休農地発生への危機をきっかけに集落営農に係る協議をスタートし、令和2年4月18日に農事組合法人すがさきを設立した。現在は農事組合法人すがさきを担い手として洲河崎集落内で農地集積を進めており、設立当初の6.3haから5年間で8.9haまで集積を行っている。また近隣集落(下安井集落等)への作付けや作業受託も行っており徐々に規模を拡大している状況ある。 今後も地域の担い手として集落内での農地集積を基本としつつ、近隣集落の受け皿として作付け・受託も行い、安定的でかつ健全な経営を目指す。			
(2) 水田の作付計画(水稻以外の作物を含む)、活用方針・具体策			
洲河崎集落の水田は平坦な圃場整備済みの水田がまとまっているため水稻を基本とする作付である。農事組合法人すがさきとしては現在4品種(ひとめぼれ、コシヒカリ、星空舞、きぬむすめ)を栽培し、刈取時期を分散している。しかしながら			

収穫の早い品種（ひとめぼれ、コシヒカリ）は高温により品質・収量が低下しており、収穫の遅い品種（星空舞、きぬむすめ）は、近年カメムシ斑点米が増えているなどの課題がある。

今後の方針として上記の課題について農業改良普及所などの専門機関に相談しながら改善に向けて取り組みたい。また高温対策として星空舞、きぬむすめの作付割合を増やしたり、カメムシ防除についても品種を団地ごとでまとめることで適期に一括して行うことで対応したい。また収量の上まらないほ場については堆肥や土壌改良剤を施用するなどして収量・品質の安定化を目指したい。

（３）農業用機械施設の効率利用

現在、田植機・コンバインは法人所有だがトラクターについては組合員所有のものを借り上げしている状況である。そのため機械とオペ（所有者）が固定化され、作業日程などの融通が利かない部分もあり作業効率が悪い。

今後は法人所有のトラクターを整備し作業員で共有することで作業効率アップを目指したい。また農地集積に合わせて法人で機械を整備する事で、機械利用効率化を図るとともに、組合員個人での機械投資をなくし負担軽減を図りたい。

また法人の経営安定を図るため田植機、コンバインなど更新する農業機械の購入にあたっては、制度資金を活用したり、費用負担軽減のため中古機械も導入しながら事業費の低減を進めたい。

（４）人材の確保、後継者育成に関する方針

現在は役員が中心となって作業を行っているがほとんどの役員が仕事をもっているため、主な作業日が土日に限られている状況。また大型特殊免許の所有者も限られている状況であり、作業スケジュールが組みづらいという課題があり、組合員全員が法人運営に関われるよう、軽作業については高齢者や女性にも参加を呼びかけている状況。

今後は役員が作業の中心となることに変わりはなく、また土日を中心に作業できる計画を組んでいくものの、水稻直播栽培を導入することで田植えに伴う労力の削減と作業の分散を図り無理のないように継続して作業に取り組めるようにしていく。

また新たなオペレーター確保のため、30代オペを中心に2名程度の大型特殊免許の取得を推進するなど人材育成に努める。さらに他法人の例を参考にしながら、洲河崎集落の実態に見合った持続性のある作業体系を確立していく。

（５）経営多角化の方針・具体策

集落内の農地の9割以上が水稻で、水稻での経営が基本となるため大規模な多角化はしない方針。ただし、広く組合員が関わりを持てるような取組としての水稻以外の作物の作付を一部で行っていく。令和6年度まではピーマンの作付けをしていたが作業従事者に高齢の方が多く、収穫期間の長さで昨今の気温上昇が相まって収穫作業の負担が大きくなり、健康面に配慮し取りやめとした。代替としてピーマンと比べて収穫時期が短く、盆時期に仏花として需要の多い切り花（アスター・小菊）の露地栽培を行う。

I 人材確保型支援実施計画 ※規模拡大・発展支援型支援のみを実施する場合は省略

1 人材確保のための取組方針

項目	実施年度		
	令和7年度	令和8年度	令和9年度
人材育成研修	実務研修		
	免許取得		
	その他		
集落営農活動への参画			

2 畦畔管理の省力化のための取組

(1) グランドカバープランツ施工計画

施工場所：

施工対象面積（畦畔実面積）： ha

本田（＝水張）面積： ha

年数	内容	面積 (ha)	金額 (円)	実施年度
1年目				
2年目				
3年目				

注1) 記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

(2) 畦畔管理用機械導入計画

（機械利用対象畦畔面積 ha、本田（＝水張）面積 ha）

機械施設名	規格能力	台数等	金額（円）	導入予定年月

(3) 畦畔管理用作業の状況

内容	現状 (年度)	事業実施後 (年度)
取組対象（予定）面積 (ha)		
取組対象面積当たり年間 作業時間		

注1) 取組対象圃場について記載すること。

2) 記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

3 園芸品目の試作

項目	実施年度		
	○年度	○年度	○年度
園芸品目の試作			

4 賑わい活動への参画促進

項目	実施年度		
	○年度	○年度	○年度
賑わい活動への参画促進			

II 規模拡大・発展型支援実施計画 ※人材確保型支援のみを実施する場合は省略

1 集積（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標

項目		現状（7年度）	目標（9年度）
農地の集積	地区内集積面積 A	8.975ha	9.180ha
	対象水田面積 B	10.515ha	10.515ha
	集積率 A/B	85.3%	87.3%
	地区外集積面積 C	3.730ha	4.000ha
	組織集積面積 A+C	12.705ha	13.180ha
経営の多角化への取組		ピーマン	アスター、小菊（盆花）

注1）経営の多角化への取組は、該当する場合のみ記載すること。

注2）目標年度は、事業実施最終年度の翌年度から3年以内のいずれかの年度で設定すること。

注3）経営面積等の現状及び目標は、集積状況一覧（別表1、2）により作成すること。

2 農業用機械施設の整備方針

機械施設名	規格能力	台数等	金額（円）	導入予定年月	本事業による導入機械に○
トラクター （代掻きハロー）	33ps	1台	4,180,000	2025.10	○

III 添付資料

1 人材確保型支援

（1）研修計画一覧（参考様式）

（2）規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）

2 規模拡大・発展型支援

（1）集積状況一覧（別表1、2）

（2）機械の利用計画（別紙）

(3) 規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）